

「帝国」と美術



[「帝国」と美術 下载链接1](#)

著者:五十殿利治

出版者:国書刊行会

出版时间:2010-11-25

装帧:A5判

isbn:9784336051196

戦前期において帝国日本が対外戦略上いかに美術を利用し、また美術はいかに利用されたかを多数の資料と年表・図版で実証的に明らかにする画期的な論集。

作者介绍:

1951年生まれ。早稲田大学大学院文学研究科芸術学博士後期課程中退。筑波大学大学院人間総合科学研究科教授。著書に『大正期新興美術資料集成』（国書刊行会、共著）、『観衆の成立 美術展・美術雑誌・美術史』（東京大学出版会）など。

目録: 序 インターナショナルとナショナルの間——一九三〇年代日本美術の海外進出

五十殿利治
日本のプロレタリア美術運動とその周辺におけるインターナショナリズム——国際交
流展を中心に

五十殿利治
羅馬開催日本美術展について

草薙奈津子
一九三九年の「伯林日本古美術展」と新聞・雑誌批評

安松みゆき
オリンピック〈芸術競技〉と日本の美術界——ロサンゼルス・ベルリン・東京

長嶋圭哉
国際文化事業から対外文化工作へ——一九四一年の国際文化振興会主催「仏印巡回
現代日本画展覧会」

桑原規子
朝鮮美術展覧会と朝鮮における「美術」受容

喜多恵美子
南国美術の殿堂建造——台湾展物語

顔娟英（鶴田武良／塚本鷹充・訳）
写真壁画の時代——パリ万国博とニューヨーク万国博国際館日本部を中心に

川畑直道
〈満洲美術〉年表（付論・〈満洲美術〉について）

飯野正仁
国際文化振興会芸術事業一覧（一九三四～一九四五年）

山本佐恵
・ ・ ・ ・ ・ (收起)

[「帝国」と美術 下载链接1](#)

标签

殖民地美术

近现代美术史

日本語

文化战略

评论

[「帝国」と美術_ダウンロード1](#)

书评

[「帝国」と美術_ダウンロード1](#)